

環境に関する事業者意識調査

調査ご協力をお願い

令和7年12月

大津市役所 環境部 環境政策課

日頃から、市政の推進にご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。
以下のとおり、「環境に関する事業者意識調査」を実施しますので、事業者の皆様のご協力をお願いいたします。

1 調査の目的

大津市では、大津市環境基本条例に基づき、令和4年度から令和12年度までを計画期間とする「大津市環境基本計画（第3次）」を策定しています。同計画は、令和8年度で策定後5か年が経過するため、中間見直しを検討しております。

本調査は、この中間見直しの検討にあたり、事業者の皆様が環境保全活動への取り組みや環境行政に対する期待、ご意見などをお尋ねします。調査の結果は、集計・分析を行った上で審議会等の資料とし、公表します。結果は統計的に処理しますので、事業所名が特定されることはありません。

2 調査の対象

本調査は、大津市内に事業場を有する事業者の皆様のうち、無作為に抽出した1,000社を対象としております。

3 情報の管理

本調査において収集した情報は適正に管理いたします。

なお、調査票および封筒には、**事業所名など、質問に対する回答以外の情報は記載しないようお願いいたします。**

4 ご回答・ご提出方法

以下のいずれかの方法でご回答・ご提出ください。（回答はどちらか1回限りとしてください。）

- ①二次元コードよりアクセスし、PCやスマートフォンからオンライン回答
- ②別付「調査票（3枚）」に直接記入し、同封の返信用封筒で郵送（切手不要）



（封筒の二次元コードと同一です）

回答期限：令和8年1月12日（月）まで

※ 本調査は、大津市が「株式会社エスプール」に委託して実施しております。

※ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

◆株式会社エスプール アンケート調査事務局 担当 長谷川、佐野

TEL 03-6853-9416 E-mail jichitaikankyo@spool.co.jp

◆大津市 環境部 環境政策課 担当：小野、上原

TEL 528-2760 FAX 522-1097 E-mail otsu1121@city.otsu.lg.jp

調査票

設問にしたがって、あてはまる番号を選んでください。
回答しにくい場合は、可能な範囲で結構です。

■貴事業所について

問1 貴事業所の代表的な業種についてあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|---------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業 建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 5. 運輸・通信業 | 6. 卸売・小売業・飲食店 |
| 7. 金融・保険業 | 8. 不動産業 | 9. サービス業 |
| 10. その他 | | |

問2 貴事業所の大津市内の従業員数についてあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 50人未満 | 2. 50～99人 | 3. 100～199人 | 4. 200～299人 |
| 5. 300～499人 | 6. 500人以上 | | |

■貴事業所の環境保全活動への取り組みについて

問3 貴事業所の環境保全活動への取り組みはどのような状況でしょうか。それぞれについてあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

	し既に い実 る施	し今 た後 い実 施	な実 し施 の予 定	な当 いて はま ら
ア 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入・活用	1	2	3	4
イ 冷暖房や動力などの省エネ運転など省エネルギーの努力	1	2	3	4
ウ エコカー（EVやHV等）導入・輸送効率化など輸送面での省エネルギーの推進	1	2	3	4
エ 事業所のZEB化（※1）	1	2	3	4
オ 廃棄物減量・分別の徹底とリサイクルの推進	1	2	3	4
カ 大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭などの公害防止	1	2	3	4
キ 敷地内の植樹や屋上の緑化	1	2	3	4
ク 環境負荷の少ない製品の開発や販売の促進	1	2	3	4
ケ 節水	1	2	3	4
コ 環境配慮型製品の購入、使用（グリーン購入の推進）	1	2	3	4
サ 事業所周辺の清掃など地域の環境保全活動の実施や参加	1	2	3	4
シ 自然共生サイト認定に向けた区域の保全及び整備	1	2	3	4
ス 環境マネジメントシステムの導入、認証取得	1	2	3	4

	し既に い実 る施	し今 た後 い実 施	な実 し施 の予 定	な当 ては まら
セ 環境配慮に関するサプライヤー（取引先）への 要求やサプライチェーン全体での対応	1	2	3	4
ソ 従業員に対する環境教育	1	2	3	4
タ 社外向け環境報告書の作成	1	2	3	4
チ ESG経営の取り組み（※2）	1	2	3	4
※1 省エネと再エネ導入により年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物のこと。				
※2 Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)を考慮した経営・事業活動に取り組むことにより、企業価値を高めること。				

問4 貴事業所の事業活動や提供する製品などを通して、生物多様性へ負荷を与えていると認識していますか。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1. 認識している
2. おおよそ認識している
3. 聞いたことはあるが、よくわからない
4. 聞いたことがない
5. 当事業所は、取り立てて環境に負荷を与えていない

問5 貴事業所では環境保全活動への取り組みについてどのようにお考えでしょうか。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1. 法令等を遵守するため環境保全活動に取り組まざるを得ないので、必要最小限の取り組みを進めていく
2. サプライチェーンにおける要請により環境保全活動に取り組んでいく
3. 社会的要請により環境保全活動に取り組んでいく
4. 環境保全活動への取り組みは事業者の社会的責任から不可欠である
5. 環境に配慮した製品・サービスを積極的に開発することで、環境へ貢献するとともに経済的発展も遂げたい

問6 貴事業所は温室効果ガス排出量の削減目標など、環境保全に資する目標や方針を定めていますか。

1. 定めている
2. 現在検討中である
3. 定める予定はない

問7 問6で1. を回答された方にお尋ねします。目標や方針をご記入ください。

問 8 貴事業所が環境保全活動に取り組んだ結果メリットはありましたか。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1. 大きなメリットがあった
2. 多少メリットがあった
3. 特にメリットはなかった
4. 環境保全活動は行っていない
5. わからない

問 9 問 8 で 1. 又は 2. を回答された方にお尋ねします。貴事業所が環境保全活動に取り組んだ結果、得られたメリットは何ですか。あてはまる番号を全て選び○をつけてください。

1. 本業の製品・サービスそのものの価値が高まった
2. 新たなビジネスにつながった
3. 事業所のイメージアップになった
4. コスト削減につながった
5. 従業員の意識改革につながった
6. その他 ()

問 10 大津市では「大津市地球温暖化防止活動推進センター」にて、地球温暖化防止や自然環境等に関する啓発・広報活動、省エネ診断、相談等を行っています。「大津市地球温暖化防止活動推進センター」をご存じですか。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 聞いたことがある
4. 聞いたことがない

問 11 貴事業所が地域での活動を行う場合、今後できそうな取り組みはありますか。あてはまる番号を全て選び○をつけてください。

1. 市民等の環境保全活動に対する物品の提供
2. 市民等の環境保全活動に対する場所の提供
3. 市民等の環境保全活動に対する技術的な支援（講演・指導・ノウハウの提供）
4. 市民や市が主催する環境保全活動への参加
5. 市民等の環境保全活動に対する資金援助
6. 従業員の環境ボランティア活動の支援
7. 事業所周辺の清掃等自らが主体となる取り組み
8. その他 ()
9. 特にない

問 1 2 貴事業所が環境保全活動への取り組みを進める上での課題は何ですか。あてはまる番号を全て選び○をつけてください。

1. 金銭的費用がかかる
2. 手間、時間、労力がかかる
3. 場所、敷地が確保できない
4. 事業活動への効果が不明である
5. 協力してくれる事業所が見つからない
6. 消費者の理解がまだ少ない
7. 取り組み方法がわからない、活動に関する情報がない
8. 経営方針に活動に対する考え方が記されていない
9. 事業内容からは、活動への取り組みの必要がない
10. その他 ()
11. 特にない

問 1 3 貴事業所が環境保全活動を進めるためには、行政（大津市）にどのようなことを期待しますか。あてはまる番号を全て選び○をつけてください。

1. 環境に関する研修会・講習会の実施など、環境に関する知識や技術を習得する機会を設ける
2. ホームページや広報などを活用した環境に関する情報発信を充実させる
3. 産学官の連携などによる人材の確保や育成を支援する
4. 環境への負荷が低い商品の製造・販売を支援する
5. 事業所が低公害車の購入や新エネルギー利用設備の設置などを行う際、財政的な支援を行う
6. 事業所の ISO14001 などの環境マネジメントシステム取得を支援する
7. 太陽光発電パネルや環境価値（Jクレジット等）の共同購入の機会を提供する
8. 環境保全・創造に対して貢献している事業所に対して表彰などを行う
9. 環境保全・創造に関する技術などを基盤とした地域産業の育成・創出を支援する
10. 環境保全・創造に関して望ましい行動指針を作成する
11. 環境税などの経済的負担措置を導入する
12. その他 ()
13. 特にない

■気候変動に伴う影響について

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加、それに伴う農作物の品質低下や熱中症リスクの増加など、気候変動によると思われる影響が全国各地で生じており、その影響は本市にも現れています。

問14 以下の気候変動は、貴事業所の事業活動に影響がありますか。あてはまる番号を全て選び○をつけてください。

1. ゲリラ豪雨
2. 洪水
3. 気温・水温上昇
4. 猛暑日
5. 台風、竜巻
6. 作物、生物分布の変化
7. 四季の変化
8. 海面上昇
9. 干ばつ・渇水
10. その他 ()
11. 特にない

問15 上記のような気候変動への対応（適応）を行うにあたり行政（大津市）に期待することは何ですか。あてはまる番号を全て選び○をつけてください。

1. 市内の気候変動に関する将来予測等の情報を提供する
2. 気候変動への対応（適応）に取り組んでいる他事業所の情報を提供する
3. 研修会や講習会の実施など、気候変動への対応（適応）に関する知識や技術を習得する機会を設ける
4. 環境技術等を気候変動対応（適応）策に活かす取り組みを支援する
5. 他事業者と脱炭素に向けた連携（コンソーシアムの結成）の機会を提供する
6. 気候変動に対応（適応）への財政的な支援を行う
7. その他 ()
8. 特にない

■その他

環境保全活動への取り組みや環境行政に対する期待、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

本調査票（3枚）を同封の返信用封筒に入れて、

1月12日（月）までにご投函ください（切手は不要です）。